

ほかの施設はどうしてる？～COVID-19感染対策について～

研修後1か月後のアンケート調査報告

アンケート対象14名うち回答8名 回答率57.1%

今回のアンケートは、研修会の内容の振り返りとして、どの程度感染対策の取り組みに活かすことができたかを確認することを目的に実施しました。研修会の意見交換では主に、シーツ交換や環境整備、患者への指導について話し合われました。その取り組み内容と実施の頻度などを集計したので、ご参照下さい。

基本情報：回答された施設のベッド数について

ベッド数	回答数	
①0～29床	2	詳細 ①50床②43床③86床④14床
②30～49床	3	⑤30床⑥24床⑦30床⑧50床
③50～80床	2	
④80床以上	1	

問1. COVID-19に感染していない患者の「シーツ交換・環境整備」について

1) 研修会后、「シーツ交換や環境整備」について検討・変更を行ったか？

検討の有無	回答数
①変更した	0
②検討したが変更していない	0
③検討していない	8

2) 上記1) で②あるいは③と回答した理由について

理由	回答数
①マットを変更しシーツ交換の必要がない	2
②現在変更を検討している	1
③費用の都合上、変更ができない	1
④これまで通りで問題ないから	3
⑤その他 (※)	1

※回数を増やしたいがマンパワー不足で困難

シーツ交換については、研修前にすでにシーツ不要のマット、あるいは毎回交換するなどの対策が取られており、研修後もその取り組み方に変更がない結果であった。また、交換の頻度や費用の負担については、コロナ禍前と比べて変わっていないと回答したところも5件中3件にあったことから、負担を抑える対策も各施設で行われていることがうかがえた。

3) 現在どのようなシーツやマットレスを使用しているか (複数回答)

シーツ・マットの種類	回答数
①布シーツのみ	4
②次亜素清拭対応マット (シーツなし)	3
③布シーツの上にディスポシーツ	1
④ディスポシーツの上にタオル	1
⑤その他 (※)	1

※防水マットレスと布シーツ

4) 布シートを使用している施設でのシート交換の頻度は (対象数5)

頻度	回答数
①1回の透析毎・患者の入れ替え毎	1
②1日1回	1
③週に3回	1
④週に1回	2

5) コロナ禍前と比べシート交換やマットについての負担は (複数回答)

負担内容	回答数
①費用が増額	1
②交感回数が増えたことによる仕事量の負担	2
③変わらない	3
④シート交換不要マットに変更した初期費用の負担 (※)	3

※1台にかかった金額 1円程度1件、不明2件

6) コンソール周辺の拭き掃除の頻度

頻度	回答数
①1回の透析毎	8
②1日2回	0
③1日1回	0
④その他	0

7) 上記6) の場所 (複数回答)

場所・もの	回答数
①ベッド柵や手すり	8
③コンソール	8
②ベッドマット	5
④血圧計	5
⑤体温計	4
⑥体重計	3
⑦パーテーション	3
⑨更衣室ロッカー	3
⑧ベッド周辺の床	2
⑩その他	0

質問2: 「感染対策における患者教育」について

1) 研修会后、感染兆候があっても申告しない患者対応について検討したか

検討の有無	回答数
①検討し見直しを実施	1
②検討したが見直しはしていない	1
③検討を行っていない	6

2) 上記1) で見直し検討を行っていない理由 (対象数7) (複数回答)

理由	回答数
①特に見直す必要がない	5
②スタッフと話し合う余裕なし	1
③患者の協力が得られにくい	2
④その他 (※)	1

※以前のまま継続中

患者教育については、研修会后、見直しはほとんど行われていなかった。理由としてその必要性がないことのほかに患者の協力が得られにくいことやスタッフとの話し合う余裕がないことがあげられた。

指導内容は、発熱時や感染が疑わしいときの連絡、検温や手指消毒、ワクチンの必要性などの予防行動であった。指導の頻度は、感染が拡大した時に行っているところが多かった。

3) 現在の患者への感染対策の指導内容（複数回答）

指導内容	回答数
①発熱時の連絡	8
②同居家族の感染が疑わしい時の連絡	8
③毎日の検温の必要性	8
④会食の報告	5
⑤旅行の報告	7
⑥マスクの着用方法	7
⑦手洗い・手指消毒の必要性	7
⑧透析患者の重症化リスクやワクチンの説明	7
⑨その他（※）	1

※帰省時などの県外在住者との接触の有無

4) 患者への感染対策について直接指導の頻度はどのくらいか

頻度	回答数
①1年に1回	0
②半年に1回	1
③感染拡大時のみ	4
④1年以上していない	0
⑤紙面のみ	2
⑥その他（※）	1

※患者から質問があった時にその都度

質問3：「感染が疑わしい患者への対応」について

1) 研修会后、患者への対応について検討・見直しを行ったか

検討・見直しの有無	回答数
①検討し見直しを行った	2
②検討したが見直しは行っていない	1
③検討を行っていない	5

2) 検討し見直しを行った内容

見直しの内容	回答数
①感染の判定の検査方法	0
②換気方法	0
③リネン類の取り扱い	1
④拭き掃除	1
⑤ゾーニング	3
⑥その他	0

感染が疑わしい患者への対応について、研修会后に検討を行った施設は3件であった。見直した内容は、ゾーニングが多かった。見直しをする必要がないと回答した施設では、マニュアル化によって速やかに対応できる環境が整っていることがうかがえた。しかし、患者からの協力が得られにくいことやスタッフとの話し合いができていないことで、見直しができないと回答した施設も散見した。

3) 上記1) で②③の理由（複数回答）（対象6施設）

見直しを行っていない理由	回答数
①特に見直す必要がない	3
②PCR検査、Near法で対応出来ている	4
③認定看護師、専門医に相談できる	4
④マニュアルがある	3
⑤速やかに対応する環境が整っている	4
⑥スタッフ間で話し合うことができてない	1
⑦患者からの協力が得られにくい	1
⑧その他（※）	1

※その都度で対応している

4) ①と答えた施設の現在の対応（複数回答可）

見直しの必要がない理由	回答数
①PCR検査・Near法	5
②認定看護師や専門医に相談	3
③マニュアルに従っている	3
④速やかに隔離する環境がある	4
⑤その他（※）	1

※その都度ガイドライン利用

【まとめ】

今回のCOVID-19感染予防対策の研修会では、他の透析施設との情報共有や感染管理認定看護師から助言が得られたことで、自施設での取り組みに問題ないことを確信する機会となったと考える。しかし、世界的にも感染対策は緩和されていく方向で日々変化しており、今後マスクの着用やワクチン接種のあり方などの意識は大きく変わることが予測される。

したがって、実施予定であった研修3か月後のアンケートは、施設ごとに見合った取り組みができていないことと、COVID-19の扱いについて変化しているため、調査はこれで終了する。

お忙しい中、アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。